

令和6年度 第1回伊東市子ども・子育て会議 議事録

日 時 令和7年1月21日（火）15:00～16:45

場 所 伊東市役所 5階中会議室A

出席者 委員12名、参与2名、事務局7名
(欠席 委員 1名)

開会

委員紹介

教育長挨拶

1 議題

(1) 副会長の選任について

※ 事務局からの提案により、前任副会長の伊東市公立保育園園長会幹を引き継ぎ、玖須美保育園の委員が副会長に異議なく選任された。

(2) 子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

ア 令和7年度幼稚園・保育園入園状況について（資料①）

イ 令和6年度地域子ども・子育て支援事業の実施状況について（確定）（資料②）

※ 事務局から資料①、②を説明

会長 説明についてご質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

[意見なし]

会長 ないようですので、以上を持ちまして、議題(2)「子ども・子育て支援事業計画の実施状況について」の審議を終わらせていただきます。

(3) 第3期子ども・子育て支援事業計画（案）について

ア 第3期伊東市子ども・子育て支援事業計画の概要について（資料③）

※ 事務局から説明

会長 ただいまの説明について、ご意見、質疑等がございましたらご発言願います。

[意見なし]

会長 ないようですので、以上を持ちまして、議題(3)ア、「第3期子ども・子育て支援事業計画（案）について」の審議を終わらせていただきます。

イ ニーズ調査の結果について（資料④）

※ 事務局から説明

会長 ただいまの説明について、ご意見、質疑等がございましたらご発言願います。

委員 集計結果を見ますと、テーマ1「アンケート結果からみた教育・保育の需要について」の問14で、「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかとの問があり、利用していない方の数値が15.9%となっていますが、ここでいう定期的な教育・保育の事業とは何を指すのでしょうか。

事務局 主に幼稚園や保育園、認定こども園などに通っているかどうかということになります。こちらは、0歳から対象となっている就学前児童のアンケートの設問ですので、「定期的な教育・保育の事業」の定義を申し上げますと、月単位で定期的に利用している事業となっており、具体的には、幼稚園や保育園のほか、認定こども園、小規模保育事業所などの利用が該当します。結果から分かるとおり、利用していない方が多いのは、やはり0歳～1歳となっていて、年齢が上がるごとに利用率は高くなり、4歳～6歳は98.6%が利用している状況です。なお、0歳～1歳の利用していない方の割合は今回39.5%となっております。

会長 ほかにご意見、質疑等がございましたらご発言願います。

[意見なし]

会長 ないようですので、以上を持ちまして、議題(3)イ、「ニーズ調査の結果について」の審議を終わらせていただきます。

ウ 第3期伊東市子ども・子育て支援事業計画（案）について（資料⑤）

事務局 この議題で、委員の皆様から主にご意見をいただきたい点については、議事次第の方に「協議項目」としてお示しさせていただいている、資料⑤第4章、第5章の「教育・保育施設」及び「子ども・子育て支援事業」の量の見込み及び確保方策について、や、資料⑤第7章、第8章の、今回新たに新設した「次世代育成支援行動計画」及び「子どもの未来サポートプラン」についてです。計画の内容について、広くご意見を頂戴したいと考えています。本日いただいたご意見と、現在募集中のパブリックコメントを参考に、第3期子ども・子育て支援事業計画を策定していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

※ 事務局から「教育・保育施設」及び「子ども・子育て支援事業」の量の見込み及び確保方策について説明

会長 ただいまの説明について、ご意見、質疑等がございましたらご発言願います。

委員 放課後児童クラブですが、先ほどの小学生児童用のアンケートの結果をみていただくと、「お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか」との問いに、「いない」と回答した割合が増えていて、資料②の地域子ども・子育て支援事業の実施状況における放課後児童健全育成事業の令和6年度の利用実績見込み数を見ても、483人が実際利用している状況に対し、計画案31ページ(3)、放課後児童クラブの令和7年度以降の確保の方策数は5年間496人と同数になっているのはいかがなのでしょう。

また、小学校の統廃合も見据えて、教育・保育の提供区域は小学校区ごとの区域設定はせず、市内全域で行うとされていますが、その場合にこういった対応を考えているのかを伺いたいと思います。

事務局

計画案 31 ページ(3)の放課後児童クラブの量の見込み及び確保の方策については、令和 7 年度を見ていただくと、1 年生から 6 年生まで、それぞれの量の見込みの合計数は 493 人となります。同様に令和 8 年度の合計は 476 人、令和 9 年度は 431 人と推移します。

7 年度については、このアンケート結果と実績に基づいた量の見込みの合計数 493 人に対して、確保方策である放課後児童クラブの利用定員の合計は 496 人としており、かろうじてではありますが確保数が量の見込みを上回っています。

ただ今のご指摘は、ニーズ調査結果にあるように、今後は子どもをみてもらえる親族・知人がいない、また子育てについて気軽に相談できる相手がいないと答える割合が増えて、利用ニーズの増加が見込まれる中で、果たしてこの数が受け皿として十分なのかということだと思います。

計画における令和 7 年度の見込み量 493 人については、放課後児童クラブへの登録児童数や、ニーズ調査結果を反映した人数です。参考までに申し上げますと、令和 6 年度の放課後児童クラブの登録児童数の合計は、時点により異なりますが、おおむね 540 人となっております。一方の確保の方策については、現在、放課後児童クラブの運営を 7 団体をお願いしており、利用定員の合計は 466 人となっておりますが、この人数では見込み量を満たせないため、伊東市としても新たな受け皿の確保を模索しているところです。そのため、現在の利用定員 466 人に、新たな定員確保分の 30 人を見込んで、確保方策を 496 人としています。今後も利用ニーズは一定程度維持されることを想定しており、利用定員を確保して待機児童を出さないよう、今回の計画を策定しております。

会長

ただ今、放課後児童クラブでご意見をいただきましたが、できれば保育園、幼稚園の現場の意見をいただければありがたいと思います。

委員

幼稚園では年々子どもの数が減少しています。宇佐美幼稚園においても現在 5 歳児が 7 人、4 歳児が 21 人、3 歳児が 7 人となっており、来年度の入園者数は 4 人という状況です。伊東市立幼稚園の学級編成基準では複式クラスとなります。このような中においても、集団での経験を重ねていくため、幼稚園としての工夫が必要だと感じています。学年の枠を超えて人と関わる力を育めるよう、職員と共に今まで以上に意識を高めていかなければならない状況にあります。

5 歳児では、集団遊び一つを取っても十分に楽しめない内容の遊びもあり、4 歳児との関わりを大切にしたり、近隣の宇佐美保育園の 5 歳児との交流の中で経験をさせるといった配慮を必要としています。人数減少に伴い、幼稚園が集団としての機能を果たせなくなってくる状況が見えていますので、見通しを持った保護者対応等ができるようにしたいと思っています。そのためには現場の意見、意向を事務局にしっかりとわかりやすく伝え、事務局の方針も伺いながら進めていかなければならないということが課題となっております。

副会長

事業計画案第 4 章(1)、幼児教育・保育等の質の向上についてです。先ほど事務局の資料でも示されたとおり、保育現場でも伊東市の少子化の進行を実感しておりますが、特別な

配慮を必要とする家庭や支援が必要な子どもが増えているということもまた実感しております。その中で保育士の不足というところが大変大きいと感じています。子どもの貧困や虐待等、支援を必要とする子どもや家庭にしっかり対応するためには、やはりマンパワー、人員が必要不可欠だということを感じているところです。

また、令和8年度からは、こども誰でも通園制度の導入が国で決定されていますが、保育士不足の状況もある中で、現場としては制度の導入は不安が大きくなります。安心安全な質の高い保育を維持するためにも、保育士の数に見合った園児の受け入れ等、制度の導入については事務局と連携しながら行っていきたいと考えています。

会長 ただ今、公立の幼稚園、保育園からご意見いただきましたが、民間保育園代表ということで、幼保連携型認定こども園川奈愛育クラブの委員からもご意見いただければと思います。

委員 幼保連携型認定こども園として4年間経ちました。社会的に新しい制度ではありますがけれども、不安視されていた点、例えば幼稚園と保育園の時間の利用の違いがあることに問題はないかとか、保護者の感覚的な違いはないかといった点について、心配は全くなかったと感じております。伊東市の現状を見ると子どもたちが少なくなっておりますので、そういう意味では、認定こども園化を進めることが良いのではと強く感じています。

市内全域を教育・保育提供区域として考えていくという提言をこの計画の中でされていますが、やはり地域によって子どもの人数の差も大きいですし、通園距離や園の数なども含め、再編については丁寧に考えられていくべきだと感じています。子どもたちは、一緒に過ごしていく中で、協同し育ち合っていますので、子どもの人数の確保、それから保育士の質と人数の確保、また、災害などが心配されますので、安全の確保を大切に考えていただきたいと感じています。

会長 他にご意見ありますでしょうか。

〔意見なし〕

会長 ないようですので、以上をもちまして、協議項目の一つ目、「教育・保育施設」及び「子ども・子育て支援事業」の量の見込み及び確保方策についての審議を終わらせていただきます。

※ 事務局から「次世代育成支援行動計画」及び「子どもの未来サポートプラン」について説明

会長 ただいま、新設となりました次世代育成支援行動計画それから子どもの未来サポートプランについて説明がございました。こちらについて、ご意見ご質問等ございましたらご発言をお願いしたいと思います。

委員 52 ページ(4)の生活困窮世帯等への学習支援は、生活困窮者自立支援制度における学習

支援事業との連携はあるのでしょうか。

事務局 今回の計画では、主な施策を掲載しておりますが、おっしゃっていただいた学習支援事業とは、伊東市が行っている学習支援教室のことかと思います。こちらについては、社会福祉課が担当課となっており、今回、主な施策としては掲載しておりませんが、子育て支援課では対象となる世帯に対してそちらの教室を案内したり、教室に通っているお子さんがいる場合には、支援員とケースワーカーが情報交換等を行い、連携して支援をしております。

委員 計画 56 ページにあるように、生活困難な家庭を把握するのは難しく、金銭的な理由による場合は分かりやすいですが、それ以外に困っていることがある場合、子どもであるほど周りに相談しにくいと思います。やはり直接子どもと関わる学校や園、その他の関係機関では、子どもたちの様子や話、身なりなどを含めて、少しひっかかる、気になるといったことから困難家庭の把握に繋がると私自身感じていますので、関係機関の連携はとても大事になってくると思います。そのあたりを強く意識して活動していくことが大切ではないかと感じました。

事務局 おっしゃる通り、生活困難な家庭を把握するのは難しいですが、伊東市は、こども家庭センターを設置しておりますので、市のケースワーカー等が、学校や、保育園、幼稚園といった現場と頻繁に連絡や情報交換をする中で、生活困難な家庭等を見つけ出し、支援をしまいたいと思っております。

委員 私が在籍する家庭児童相談室は施策の一つとなっておりますので、身の引き締まる思いがします。全てのお子さんの成長に合わせていくことは、なかなか難しいですが、先ほど、アンケート結果では相談先や相談相手がいないというポイントが増えたとの話がありましたので、気軽に相談先にしてもらうためにも、私達の相談室についての周知が必要だと感じました。

子どものサポートに関するたくさんの事業を紹介していただいておりますが、伊東市ではどのような点に力を入れていくのか、というところをもう少し説明していただくとありがたいかと思います。

事務局 貧困対策というところで一番大事なことは、この計画にも掲載しておりますが、子供の将来が、その生まれ育った環境によって左右されることがないように、貧困が世代を超えて連鎖することがないように、必要な環境を整備し、医療ですとか、教育等、総合的に支援していくことであると思っています。また、支援が届きにくい家庭がありますので、その支援から漏れないように、地域や関係機関と連携して取り組んでまいりたいと思っております。

会長 他にご質問等あればお願いいたします。

[意見なし]

ないようですので、以上で新設した伊東市次世代育成支援行動計画及び子どもの未来サポートプランについて終わらせていただきます。協議項目につきましては以上となりますが、それに限らず、計画全体につきまして何かご意見ご質問等ありましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

[意見なし]

会長 ないようですので、以上で議題(3)第3期伊東市子ども・子育て支援事業計画（案）について終わらせていただきます。

(4)その他

会長 事務局から何かありますか。

事務局 特にありません。

会長 委員の皆様から何かございますか。

[意見なし]

会長 これをもって進行を事務局に返します。

事務局 本日は、長時間にわたる審議、誠にありがとうございます。時間どおりということで、進行へのご協力及び、ご意見をいただきありがとうございます。最後に事務連絡をさせていただきます。

冒頭の説明にもありましたが、本年度の伊東市の子ども子育て会議は、全2回の開催を予定しております。今年度中に、この第3期の計画を策定するという事で、本日、ニーズ調査結果及びそれに基づく計画案をお示しいたしました。また、同時に実施しているパブリックコメントにおいても、広く一般にご意見をいただいているところです。

次回開催日は、令和7年3月25日、火曜日を予定しております。次回の会議につきましては、本日皆様からいただいたご意見と、先ほど申し上げたパブリックコメントに寄せられたご意見を踏まえた計画案を、再度委員の皆様方にお示しさせていただき、第3期伊東市子ども・子育て支援事業計画の策定を進めていきたいと考えております。

以上をもちまして本日の会議を閉会とさせていただきます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。

閉会